

口 頭 弁 論 要 旨

京都市中京区に住んでおります、西村敦子と申します。藤井悦子という雑誌のペンネームで活動しています。

実家が滋賀県大津市の JR 膳所駅の近くにあり、京都の大学の 1 回生までは実家に住んでいましたが、それ以降約 37 年間ずっと京都市に住んでおり、京都と滋賀には強い愛着を持っています。

私は会社員ですが、市民活動で雑誌や書籍の取材や編集をしており、3・11 以前から雑誌の特集で原発問題を扱うなどして、京都のすぐ北の福井県若狭地方にある関西電力などの、廃炉中のものも含めて 15 基もの原発群には大変不安を感じていました。このような経験・立場から、大飯原発差止についての意見を述べたいと思います。

【舞鶴市避難計画について】

私が住んでいる京都市中京区の家は、グーグルマップによると、直線距離で大飯原発から約 58 km、高浜原発から約 60 km のところにあります。滋賀県大津市の実家は、大飯から約 64 km、高浜から約 67 km です。もうすぐ 90 歳になる母が住んでいる大津市内の高齢者施設は、大飯から約 67 km、高浜から約 70 km です。老朽原発である高浜 1, 2 号機も再稼働すると言われており、大飯・高浜両原発が同時発災する危険性も高く、原発事故が起きたら避難が必要なほど汚染されるだろうと、強い不安を感じています。

ほぼ全市避難となる舞鶴市の避難計画では、京都市が避難先となっており、約 6 万 5 千人もの避難者を受け入れる地域として想定されています。

私は、原発の避難問題を考える市民グループと一しょに、京都府や京都市に原発問題について要請に行ったり、放射能汚染に関する講演会や学習会に参加した際に、舞鶴市民の避難受け入れについて知りました。しかし、ほとんどの京都市民はそのような計画を知らないと思います。京都府や京都市による広報でも、町内会の回覧板などのお知らせでも、見たり聞いたりした記憶は全くありません。私が、2015 年 9 月に参加した町内の防災訓練でも、原発事故について一切言及されていませんでした。町内の役員の人に「ここも原発から 60 km で、大事故が起きたら汚染されるから、その防災訓練がいるんじゃないですか？」と話す「このへんは遠いから関係ないよ」と言われただけで終わってしまいました。

私の町内では、町内会長は、毎年交替します。今回、裁判で弁論させていただくにあたって、2019 年と 2020 年の町内会長に行政から原発に関する話を聞いたことがあるか確認しました。しかし、町内会長らは、「行政から、原発に関する話を聞いたことは一切無い」と言われました。しかも去年はコロナ禍のため、私の町内では防災訓練自体ができませんでした。

コロナ禍では原発事故における避難所や避難バスなどのスペースを従来の約 2 倍確保すべきという福井県の「避難所運営の手引き」ができており、内閣府の原子力防災担当も「これは全国に当てはまる」「避難所の数は倍程度必要だ」と述べていますが、京都府の話ではこれ以上の確保は難しいと、そもそも避難先自治体に要請していないとのこと。ディスタンスを取るスペースもないまま、受け入れ側自治体の防災訓練すらできないよう

な、こんな状態で原発事故が起きても、受け入れなど不可能ではないでしょうか。

【大好きな京都・滋賀が汚染され、避難を余儀なくされることは耐え難い】

それどころか、大飯原発や高浜原発で大事故が起きたら、京都市民は自分たち自身が避難しなければならなくなると思うのです。避難しなければならない地域で、何万人もの避難者を受け入れられるはずありません。今の避難計画は、そのような意味からも実効性はないと思います。

福島原発事故の汚染状況などと照らしてみれば、私の家のある地点をはじめ、おそらく京都市のほとんどの地域が、避難をしなければならないほどの放射能汚染にさらされ、長期避難をせざるを得ないのではと危惧しています。被ばくなど絶対に嫌です。しかし私が住んでいる中京区は、原発事故で私たちが避難することは想定されていません。私はいったいどこにどうやって避難すればいいのでしょうか。そして高齢の母は果たして避難など可能なのでしょうか。

運よく短期の避難先が見つかったとしても、そもそも近畿の水がめである琵琶湖の水が少なくとも1か月はヨウ素で汚染され、さらにはそれ以降もセシウムなどで汚染され続ける危険性があり、関西一円で飲料水や生活水にも事欠く状況が続くことが予想されます。

そもそも私は、原発事故で避難などしたくありません。事故の状況によっては私の大好きな京都や滋賀の、思い出の詰まった家や、小さいけれどもずっと両親が手入れしてきた緑が豊かな庭や、美しい街並みや自然、歴史的・文化的な建造物や、琵琶湖までもが、放射能で汚染されるかもしれない。生まれ育ったこの地域から避難して、何年も何十年も、場合によっては二度と帰って来れないかもしれない。パソコンも本も食器も家具も服も布団も、いつも使っているすべての物が、汚染物として廃棄しなければならないのかもしれない。懐かしい実家も汚染で壊さなければならないかもしれない。市内にある職場の事務所も汚染されて使えなくなるでしょう。考えるだけで耐えがたい苦痛です。私は修学院で50㎡くらいの土地で無農薬の家庭菜園をしているのですが、福井で原発事故が起きたら、尾根伝いで風が来るので真っ先に汚染されるだろうと聞きました。畑の土もひどく汚染されると思うと悲しくなります。

福島事故で明らかになったように、国が年間20mSvまで被ばくしても大丈夫だと勝手に基準を決めてしまうなどして、避難すべきだと認定されなければ、避難しても補償がほとんどないでしょう。それでも避難して生活していけるような金銭的な余力はとてありません。

【最後に】

原発事故は自然災害ではなく人災です。原発を運転しなければ大事故の危険性は大幅に減ります。大飯および高浜原発の運転を直ちにやめてもらいたいと思います。老朽原発再稼働など論外です。

私は原発事故で被ばくするのも、私の愛する京都と滋賀が放射能汚染されるのも、避難させられるのも絶対に嫌です。

大飯原発の運転差し止めを強く要望いたします。